

2023 年度後期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	工学部第三類 1 年
------------	------------

(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

(2) プログラム内容についての全体的な感想

(1)

学んだことのうち、特に驚かされた文化の違いが相手に対してのレスペクトの考えだ。挨拶は特にそれが表れていると感じていて、ホテルの従業員の方や教授・生徒・友達など自分に関わりがある人と目があつたらすぐに **Good morning** や **Hello, Hi** など簡単な挨拶をしていた。渡航前にこの習慣を聞いたとき、日本にもある文化ではないかと思っていた。だが、日本人は別に目配せや会釈くらいで済ませるのに対して、アメリカでは必ずと言っていいほど会話のラリーが発生する。また、すれ違うときにぶつかったり、道を譲ってもらったりなど、人と人の間に少しでもイベントが発生したらその都度声に出して意思表示をしていた(**Excuse me, Sorry, Thank you** など)。全く理解できない文化ではないし、何なら日本でもやるときはやるが、その頻度に驚いた。レスペクトを持つこと、またそれを声に出して表現することがアメリカの人々の表現能力やプレゼン能力、フレンドリーさに表れているのではないかと私は考える。日本人の私からしたらとても興味深いし大切なことだと思ったので、私もそのような習慣をつけたいと思った。このような習慣を身に着けるために、まずは今回知り合うことができたアメリカ人学生と SNS などを通じて連絡を取り続けること、また大学内にある国際系サークルに参加したり、留学生対応などの大学生主催のイベントに参加したりなど、英語を話す機会を自ら作り実践すること、またこれらを通してさまざまな英語話者とふれあい考え方を学び自身の考えや習慣をアップデートしていこうと思っている。

(2)

プログラムへの満足度はとても高い。理由の一つに、現地の方からのサポートがとても充実していたということがあげられる。私たちにはまず英語という障壁があるが、対応してくれたパデュー大学の教授や日本学生会の方たちのおかげで「言語を学ぶ機会」と「文化を学ぶ機会」を切り分けて学習できた。具体的に言えば、プログラムの主題である半導体やプレゼンの授業、日常会話、現地学生との交流会はすべて英語で行われ、パデュー大学で行われている研究の先進さ、英語で自信の考えを主張する難しさを学ぶことができた。また、それ以外の自由時間では日本学生会の方たちとショッピングやご飯に連れて行

ってもらったり、パーティーに参加したりと、現地の大学生の文化を現地の方の目線で、時には日本語で説明を受けながら体験することができた。「英語のせいで何もわからないまま留学を終えてしまった」となってしまうことをとても不安に思っていたが、実際にはそんなことはなく、しっかりと自分の意思を持って行動することができれば、周りがサポートしてくれるという環境があったことがとても助かった。

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

ありがちなことですが、私は英語、特にリスニングの勉強をもっとしてから行くべきだったと少し後悔しています。スピーキングについては、正直表情やジェスチャー、何となくの雰囲気伝わります。意外とこちら側からの表現は伝わります。ですがリスニングに関してはこっちが理解しないとどうにもなりません。特にお店でのオーダーのときなど、会話のキャッチボールというより作業的なことのリスニングの方が私は難しく感じました。ファストフードの店員さんは、こっちがビビっているだけなのですが、強面で冷たくて高圧的で言葉が早く少ないと感じます。それでとりあえず Yes と言っておいて大量の料理と結構な額の請求が来るという経験がありました。文化的な英語のやり取りは、まずは日本語で理解しておき、それを英語で話す練習をしておいたほうがいいです。また、これはプログラム開始後のことなのですが、積極的に会話に参加していくことも大事だと思います。アメリカでは自分が何もしていなくても自然に会話が発生しますが、かなり突発的なので瞬時に対応するのは相当訓練していないと難しいです。また、第一印象でアジア人とみられるので下に見られるということもあります。英語を話せず自身の意見も持たないアジア人と認識されてしまうと話しかけられる機会も激減してしまいもったいないです。英語に自信がなくても、こちらからコミュニケーションをとりたいという姿勢を見せれば相手は必ず助けてくれます。まずは勇気をもっていろいろな人に話しかけに・質問に行けばより充実したプログラムになると思います。

2023 年度後期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	工学部第三類 1 年
------------	------------

(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

(2) プログラム内容についての全体的な感想

私は START プログラムに参加しアメリカ人の生活スタイルや価値観、多様性を学んだ。例えば、チップを払うことや食べ残しはドギーバッグで持ち帰りができること、ドアが内開きで後ろに人がいたらドアを押さえておくことなどである。また、初対面の人との挨拶では握手をしたりハグをしたりするなどの日本と異なる礼儀作法を知った。日本とは異なる文化や習慣、考え方に触れることで異文化理解が深まったと思う。アメリカの食生活や学校生活を経験・体験することでアメリカの良さを知ると共に、改めて日本の良さを感ずることができた。

また、言葉の壁があっても楽しくコミュニケーションを取れることを改めて学んだ。英語の流暢さも大切だと思うが、コミュニケーションを取ろうとする姿勢の方が大切だと感じた。言葉のニュアンスや英語のアクセントは国や地域によって異なるので聞き取りづらい部分がある。相手の発言の全て理解するのは難しかったが、ジェスチャーやアイコンタクト、表情などの非言語コミュニケーションを利用することで歳の差があっても日本のように先輩・後輩の関係を感じることがなく、現地の学生と楽しく話すことができた。私たち日本人は周りの空気を読み、少し遠慮する部分がある。アメリカの学生の様子をみるとあまり謙虚にならず自分の思いをはっきり伝えることが必要だと感じた。

アメリカの学生と交流するとき特に英語力が不足していると感じた。独学で英語の勉強をすると同時に、パデュー大学に行った学生と国際交流イベントに参加し、英語を話す機会を増やしていきたい。英語力を高めて今より留学生と自信をもって話せるようになりたいと思う。また大学の勉強だけではなく、ボランティアなどの大学外の活動に参加し活動の幅を広げていきたい。

今回の留学でたくさんの素敵な仲間に出会い、貴重な人脈を築くことが出来た。JSA の方の取り組む姿勢に刺激を受け、長期留学の関心も高まった。今後も様々な国籍の学生と関わる機会を増やし人脈を広げていきたいと思う。そして多様な文化や価値観に触れ、今よりも国際感覚や異文化理解を身につけ、将来エンジニア、研究者としてグローバルで活躍したいと考える。

(2) キャンパス散策では大学内の象徴的な建造物や競技場、ジムなどの施設をみることができ、多くの宇宙飛行士を輩出していることやスポーツが盛んであることなどパデュー大学の様々な魅力を知ることが出来た。半導体の講義は難しかったが、授業の雰囲気や学生の様子など日本と異なる部分をみることで良かった。半導体以外の内容の講義やディスカッションの授業に参加出来たらよりアメリカの大学の授業スタイルを知ることが出来ただろう。半導体の講義に加えてナノテクノロジーセンターや原子炉などの大学内の施設見学、スバルの工場視察などもあり様々な未来のテクノロジーを学ぶことが出来た。シカゴの日帰り旅行では科学産業博物館やウィリスタワーなどの観光地を訪れ、超高層ビルや歴史的建造物を満喫した。建築やアート、音楽で溢れる魅力的な大都市を学生と楽しむことが出来た。夕方からは JSA の方とボーリングやカードゲームで遊んだり、ご飯を食べたりと夜までタイトなスケジュールだったがとても充実した日々を送れたと思う。

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

私は元々洋楽や国際ニュース、異文化などに興味があり留学したいと考えていました。留学前は気持ちが高揚するとともに緊張感、英語力に対する不安もありました。しかし、現地にいくとかけがえのない仲間との出会い、日本では出来ない貴重な経験や体験ができ、とても濃い毎日を過ごすことができました。短期間でしたが、気づきや学びが多くあり、留学して本当に良かったと思っています。将来やりたいことや新たな課題が見つかり、失敗も成功もすべて自分にとってプラスになったと実感しています。

私は主に留学前の準備が大切だと感じました。事前に大学内で半導体について講義を受け知識をつけたことで現地での講義の理解に役に立ったと感じました。また、留学の目標や目的を明確にして現地の文化や歴史、慣習を知ることにより生活を楽しむことが出来ると思います。もちろん日本の文化、伝統について知っていることと学生との会話の幅を広げることが出来るので大切です。語学学習ではスピーキングとリスニングに力をいれるとともに語彙力を高めることをお勧めします。私は普段の生活で英語の話す機会が少なく、現地でも言いたいことが上手く伝えられないことがありました。それでもある学生から

「I can understand your English.」と言っていたときは、簡単な単語や構文を用いてでも自分の言葉で伝えることが大切だと実感しました。また、相手の言っていることを理解することが出来れば、拙い英語でも自分の意見、考えを表現することができます。友達と英語を話したり、国際交流イベントに参加したりと様々な方法で英語に触れ、語彙力も高め、留学先では有意義な時間を過ごしてほしいと思います。体調管理を忘れずに安全には気を付けて楽しんでください。

世界への憧れ、興味はあるものの長期の留学はハードルが高いと思っている方もいると思います。しかし留学はとても価値があり、自分が成長することができる最高の機会だと感じました。新しい環境に飛び込むには少し勇気がいるかもしれませんが、自分の考えや視野を広げ価値観を変える大きなチャンスになると思うので、START プログラムで世界を見てみてください。